人事異動

内閣

○防衛大臣臨時代理
国務大臣　菅　義偉
防衛大臣小野寺五典海外出張不在中内閣法第十条の規定により臨時に防衛大臣の職務を行う国務大臣に指定する（十二月七日）
○防衛大臣臨時代理解職
国務大臣　菅　義偉
防衛大臣小野寺五典帰朝につき内閣法第十条の規定による臨時に防衛大臣の職務を行う国務大臣としての指定を解く（十二月八日）
故ネルソン・ロリシュラシュラ・マンデラ元南アフリカ共和国大統領の追悼式に参列する特派大使を命ずる
期間は平成二十五年十二月二十四日までとする（十二月九日）

内閣府

総合科学技術会議議員に任命する
中西　宏明
願に依り総合科学技術会議議員を免ずる（以上十一月二十七日）
中鉢　良治

宮内庁

東宮侍従長
加地　正人
東宮大夫小町恭士海外出張不在中東宮大夫事務代理を命ずる（十二月九日）

法務省

平成二十六年司法試験考査委員に任命する
越山　和広
任期は平成二十六年十月三十一日までとする
平成二十六年司法試験予備試験考査委員に任命する
任期は平成二十六年十一月三十日までとする（十二月一日）
安藤　信明　岡住　貞宏　黒澤　賢一
齋藤　毅　須永　啓子　角野　弘幸
玉ノ井雄一　松島　桂子　本木　敦
吉益　千絵
平成二十六年度司法書士試験委員（筆記試験担当）に任命する
任期は平成二十六年十一月三十日までとする（各通）
検事
江原　健志
同
佐藤　達文
検事兼法務事務官
磯部　慎吾
検事兼法務事務官兼法務教官
伊藤　孝至
法務事務官
江口　幹太
同　櫻庭　倫　同　塚野　智久
同　西江　昭博
平成二十六年度司法書士試験委員に併任する
併任の期間は平成二十六年十一月三十日までとする（各通）
検事
石井　隆
同　金子　修　同　小林　康彦
同　佐藤　剛　同　筒井　健夫
同　堂薗幹一郎　同　中辻雄一朗
同　萩本　修　同　松井　信憲
平成二十六年度司法書士試験委員（筆記試験担当）に併任する
併任の期間は平成二十六年十一月三十日までとする（各通）（以上十二月三日）

叙位・叙勲

○叙位

正三位に叙する
根來　泰周
正五位に叙する
塩澤　清茂
従五位に叙する（各通）
上南　雅延
荒川　祐道
（熊本県錦町公立学校長）
糀谷　泰通
定蛇　嘉之
正八位
従七位
宮下　洌
正六位に叙する（各通）
福沢　求生　望月　明志
従六位に叙する（各通）
百瀬　達夫
正七位に叙する
嶋田　謙司
小島　信男
木村　逸夫
佐久間秀雄
杉山　義尋
永田　卓夫
藤井　博
山下　圭一
従七位に叙する（以上十一月四日）
（横浜市立大学名誉教授）
甲斐　締雄
安達　次郎
（神戸商科大学名誉教授）
渡部浩太郎
従四位に叙する
菅原　義亮
正五位に叙する
大井　荘平
従五位に叙する（各通）
井上　勇雄　今井　建樹
田代　奘一　西川　弘
山本　廣
正六位に叙する（各通）
池沼　隆夫　榎本　知二
川上　和雄　竹内　睦夫
成瀬　正夫　坂東　充
従六位に叙する（各通）
樺澤　操　久木田健造
徳田　利義　蒔田　次男
正七位に叙する（各通）
橘　侃
従七位に叙する（各通）（以上十一月五日）
（山形大学名誉教授）
新井　宏朋
正八位
小縄　快郎
正四位に叙する（各通）
（東京大学名誉教授）
加藤　勉
従四位に叙する（各通）
（国立大学法人職員）
岸　肇
川内　利一　隈元　幸美
須川　謙一　田中　保男
宮下　仁
従五位に叙する（各通）
朝日　重晴
大場　孝夫
正八位
酒谷　正一
寺西　敏夫
正六位に叙する（各通）
網中　昭　飯島　敏雄
岩瀬　正次　相樂　利勝
城本　博　菅沼　辰男
従七位
野田　悌　八谷　孝司
松木　正輝　松本　一夫
正八位
従六位に叙する（各通）
田中　政夫
（福岡県警部補）
米村　静也
中島　英喜
池田　哲三
古森　幸一
（埼玉県警部補）
横畑憲四郎　和久　實
正七位に叙する（各通）
上辻　義雄
平　寛一郎
藤枝　健次
渡邊　赦光
大眉　靖
武藤　誠
御手洗東洋
峰岸　嘉重
土屋　大
嶋貫　良男
高田　清一
千葉　鶴壽
松浦　眞行
水口　正司
大橋祥治郎
柿木　幹夫
木村　國夫
竹田　俊雄
和田　賢一
岩井田修二
佐原　晃久
従五位に叙する
栗本　智一　豊岡孝四郎　中塚　弘
本橋　昭雄　森　博和
従六位に叙する（各通）
石田　晶　木本　孝美　西岡　早一
正七位に叙する（各通）（以上十一月八日）
田渕　幸憲
正七位に叙する（十一月九日）
小島基佐子
従六位に叙する
柳田　敏夫
正七位に叙する（以上十一月十日）
岡本　義則　関井　亘
従五位に叙する（各通）（十一月十二日）

○叙勲

旭日双光章を授ける
杉山　義尋
旭日双光章を授ける
鎌田　治躬
旭日単光章を授ける（以上十一月四日）
井澤　明正　市川　宏志　伊藤小三郎
旭日単光章を授ける（各通）（十一月五日）
岩瀬　正次
旭日双光章を授ける（十一月六日）